

REFEREE NEWS



公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

October 2017

年4回(1・4・7・10月)発行

レフェリーキャラバンin千葉！！

皆さん、レフェリーキャラバンをご存知ですか？

「レフェリーキャラバンプロジェクト」は、JFAが2015年より実施している事業で、将来的なレフェリーアカデミー構築の足がかりとして、JFA審判委員会や審判ダイレクターが都道府県サッカー協会審判委員会を訪問し、現状における課題や今後の方向性などを情報交換をしながら、地域・都道府県FAと協働して、審判員の普及・育成・指導体制を更に強化していくことを目的としたものです。

9月2日(土)～9月3日(日)に千葉県開催が行われ、明海大学で指名インストラクター21名、指名審判員30名、その他オブザーバーを含め約70名ほどが参加し、2日間に渡り楽しく研修が行われました。



初日の参加メンバーでアタックチャンス！

目次

レフェリーキャラバンプロジェクト	1～3	強化審判員より	10～12
決勝審判表彰	4～5	更新講習、新規講習会案内	13～14
女子香取研修会報告	5～6	地域で頑張っています！	15～16
ユース研修会報告	6～8	レフェリーフィットネスコラム	17
FFP研修会報告	9	ワンポイントレッスン	18～20
シニア研修会案内	9	通達案内	20

千葉県今回のターゲットはインストラクター。

フォーチュンクッキーでのアイスブレイクからスタートし、チュータリングという指導法について、講義やグループワークを中心に研修ながらも和気あいあいと学びました。審判員は家本プロフェッショナルレフェリーの講義など、貴重な話を聞くことができました。



フィードバックのロールプレイング



みんなでフォーチュンクッキー♪

☆インストラクター、審判員それぞれ1名より感想をいただいたのでご紹介いたします！

★3級インストラクター 小栗山 浩史

今回のキャラバンでは、「チュータリング」と「新アセスメントレポートの考え方と記載方法」そして、「新アセスメントに基づく指導の実践演習・審判員へのフィードバック」を学ばせていただきました。

「チュータリング」という指導方法の考え方、また自分で実際に体験・実践を行い、非常に新鮮で、これからの審判員を指導していくにあたってとても参考になる指導方法であると感じました。また、現役トップレフェリーである家本さんの審判員の立場から講義・フィードバックのお話を聞かせていただき、「チュータリング」指導方法は積極的に取り入れていくべきだと改めて感じさせていただきました。

インストラクターとしてはまだまだ経験も知識も未熟な私ですが、今回の研修で得た知識や情報・手法を一人でも多くの審判員にフィードバックし、審判員育成のための活動をしていきたいと思えます。最後になりましたが、2日間ご指導していただいたJFA高橋インストラクター、斉藤インストラクター、家本プロフェッショナルレフェリーに感謝申し上げます。



みなさん真剣です！！

グループワーク中



グループごとの発表



☆サッカー2級審判員 永島 淳平

今回のレフェリーキャラバンの開催にあたってJFAのスタッフの皆様、また当日の運営だけでなく事前準備の段階から今回のような環境を整えていただいた千葉県審判委員会の皆様へ感謝します。多くの審判員、審判指導者の方々にとって非常に有意義な、今後の成長のきっかけとなるような時間を過ごせました。

今回のキャラバンで最も印象に残った言葉は、プロフェッショナルレフェリーの家本政明さんによる『熱意(1~100)×能力(1~100)×考え方(-100~100)=結果』という考え方を紹介していただいたことです。この式において注目すべき部分は、考え方の部分には『マイナスの世界』が存在しているということで、つまり、能力が非常に高い審判員であっても、考え方が否定的、ネガティブな審判員は決して良い結果は得られず、むしろマイナスな結果になってしまうということでした。

『考え方』が成長するために1番大切な要素であるとするならば、心の鍛錬が何よりも重要であること、自分の人間的な魅力や長所や短所、さらに信頼を得るためにはピッチ内外で何が必要であるかを考えました。これらのことはピッチ上でのパフォーマンスに関わることであり、自分の心を磨くうえでも重要なヒントを握っていると思います。もちろん、審判員として試合を任せられた以上、審判員としての専門性は持つべきです。ピッチ上で高いパフォーマンスを示すため、信頼されるためには人間性を磨き続けることが重要であるということ学びました。

また、審判員として魅力的なサッカーの試合を提供することは非常に重要なことです。

そのような考えから、『極上の審判員とはどのような審判員か』という問いかけがありました。



家本レフェリーによる講義



午前中のフィードバック

サッカーに関わる全ての人を心からリスペクトすること、審判員はピッチ上で自分の能力の最大を尽くし魅力的な試合を作り上げるべく努力すること。今まで何度か耳にした言葉ではありますが、今回のセッションを通してより明確に意識することができるようになったと思います。自分の中で理想の試合像、審判員像を持ち、その実現を目指して試合に臨んでいきたいと思っています。

しかし、技術的なことを鍛えなくてよいというわけでは決してありませんし、今回のキャラバンでも技術的なセッションがなかったわけではありません。

競技規則の解釈、判定の考慮点の整理など重要なことは学びました。しかし、最も基本的でありながら、常に意識しないと忘れてしまうような人としての在り方や、審判員

としての在り方を私自身は1番に学べたことと感じています。

今後、千葉県審判チームの一員として学んだことを少しずつ実践していきたいと思っています。



☆試合をより良くするための審判指導法と審判員の距離が大事です☆

Great work!

○●平成29年度 千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦●○

平成29年 7月30日 14時 kickoff 東総運動公園陸上競技場
順天堂大学女子蹴球部 0(0-0, 0-1)1 帝京平成大学女子サッカー部
主審:彦坂由樹子 副審1:栗山知佳子 副審2:大橋明子 第4審:林麗華 (敬称略)

平成29年度 千葉県女子サッカー選手権大会 決勝戦で審判を務められたみなさん。1点を争う素晴らしいゲームの演出に力を発揮していただきありがとうございました。



左から
大橋さん、林さん、
彦坂さん、栗山さん

皆さんに、審判活動のモチベーションについて、聞いてみました。

彦坂:前に指摘されたことに対して修正できるようチャレンジしてみようかな、と思うことと、審判関係者に限らずサッカーに関係するいろんな人との出会い、再会が楽しみなことです。

栗山:サッカーが好きなので、プレーがこんなに間近で見られるポジションは他にないと、いろんな世代の方と交流することが出来ることです。高校時代にサッカー部のマネージャーをしていたのですが、顧問の先生も審判をされていて、昨年、審判関係のイベントで偶然再会することができました。

大橋:審判を終えた後のコンビニデザートも良いんですが、家に帰ってから子供は選手の立場、私は審判の立場でのサッカー談義のコミュニケーションが広がるのが楽しいです♪

林:親がサッカーが好きなので、父親とのコミュニケーションのきっかけになっています。サッカーがないと、話すことがホントになくなっちゃうんで…(笑)そして自分が興味のあることに対して、親がお金を出してくれることってあまりないんですけど、審判活動に必要な道具に関してはとても積極的に支援していただいて、アルバイトをする時間があまりない中で大変お世話になっちゃっています。





おつかれ
さまでした!

○●女子部 通信！ 実技更新講習会●○

8月19日(土)、20日(日)の2日間にわたり、実技更新講習会を、香取市招待ジュニアユースサッカー交流大会試合、香取市立佐原第五中学校会場で実施しました。

土曜日は第1試合の前半から雨が降り始め、ハーフタイムに入ると雷の音が…。本部から建物の下や車の中に入るように指示があり、全員退避。1時間半近く様子を見守ることになりました。しばらくすると雷も雨も止み、本部と運営の判断で再開することができました。試合時間の短縮などはありませんでしたが、受講生も予定通り割当を行うことができました。雷のときの対応についての通達に目を通す機会を得ることができ、また、実技では競技規則が変更となった事象が起きるなど、再度変更点についてインストラクターと一緒に適用の方法について検討し、確認することができました。

日曜日は比較的過ごしやすい天候で予定されていたリーグ戦が実施され、受講生は体力的に余裕をもって普段の活動や自分の課題と向き合うことができたのではないかと思います。最終試合は、女子1級審判員の千葉さんに主審に任じ、副審2名と一緒に試合を体験。受講生やスタッフは観戦研修し、インストラクターによる解説を聴きながら自然と流れるような、ボールとプレーの近くにいながら選手の邪魔にならない動きに見入りました。

両日も実技の合間に、規則の変更点を確認できる競技規則テストを実施しました。大きな変更のあとの改正ではありませんが、いま一度、整理をする良い機会になったと思います。

女性だけの更新講習会です。インストラクターからの丁寧な指導を受けられます。毎年、香取市サッカー協会のご協力を得て、8月のお盆明けの週末に行なっています。女性審判員のみなさん、来年の予定に入れておいてください！

受講生の感想をご紹介します。

❖ 去年は雨によって、実技研修がなく、淋しかったので、今回はよかったです。試合時間をきちんとこなせる体力をつけていくことが今後の課題です。毎回、お手配、準備ありがとうございます。来年も「元気に」参加できたら、と思います。

❖ 香取研修会に今年も参加させて頂きまして、ありがとうございました。雷雨のため、1時間30分の待機時間がありましたが、割当の試合をさせて頂きました。試合の内容に合わせてのレフェリングなど課題はいろいろとあります。今後とも勉強しながら、進んでいければと思います。ありがとうございました。

❖ 雷、試合中断、本部の判断待ち、試合の再開、チームへの連絡など、レフェリング以外でのいい経験ができました。自分の試合では、『ペナルティーエリア内での決定的な得点の機会の阻止』『ボールへのプレー』だけど、警告が出せず、インストラクターに言われるまで気づけなかったの、意識を高めたいと思います。怪我なく終わったのでよかったです。

❖ 昨年は雨で講義となり、今年は、雷で途中中断の後に、試合再開となるような天気でしたが、涼しく真夏の日には体力的にはやりやすかったです。何がおこるか分からない実技研修のなかで、競技規則が変更になったことが起こり、とつても勉強になりました。頭ではわかっている、実際に試合の中で即座に対応できるように慣れていきたいと思います。

❖ 第一試合の主審だったので、緊張もあり、ファウルがしっかりジャッジできず、予測もまだまだ足りませんでした。千葉さんにたくさんご指導して頂き、今回の講習会を足がかりにもっと成長したい、もっと成長しようと思いました。最後に千葉さんの主審を観戦し、感動しました。自分の動きと全く違う。非常に勉強になりました！少しでも近づけるようがんばります。

❖ この講習会を受ける前に自分なりの課題を決め、参加するのですが、なかなかうまくいかず、反省で終わってしまいます。もっとあさすれば良かった、あの時もやっぱり…。もっと走って、予測して動き出し。そんななかでも、一つ褒めていただいたことを持続し、褒めていただけることが増えるように日々頑張ろうと思います。来年もまたしかられるだろうけど、よろしくお願いします。

❖ 主審を1本と副審を2本やりました。主審では手を使ったファウルの判断、サイドステップからの前への動きの切り替え。副審ではスロアーの監視、分かりやすいジェスチャーなどを御指導いただきました。最終試合は国際副審でいらした千葉さんとご一緒させていただき華麗なステップとゲームコントロールに感激しました。インストラクターの谷口さま、千葉さま、運営して頂いた女子部のみなさま、ありがとうございました。



初心者歓迎



1日目、2日目の参加者で記念撮影！



●○ユース・若手審判員 宿泊研修会○●

報告:育成部/U18担当 右田 智也

8/19(土)～20(日)にかけて、今年もユース・若手審判員の宿泊研修会を実施しました。また新しい顔ぶれがあり、充実した2日間となりました。リピート参加者においてはレフェリングの技術の向上だけでなく、オフザピッチでの立ち居振る舞いにも成長が見られた研修会でした。年長者は年少者の面倒を自然に見られるようになってきており、座学でのプレゼンでは、1年前とは比べ物にならない立派な発表が出来るようになっていました。大人になりつつある年代ですので、私自身、どちらかというとオフザピッチでの指導に注力してきたので、ようやく成果が現れてきて、涙が出そうになりました。(彼らの前では絶対に泣かないけどね！)この研修会での素晴らしい伝統を、新しい顔ぶれにも受けつないでほしいものです。



「1日目。降ったり止んだりの中、キックオフ」



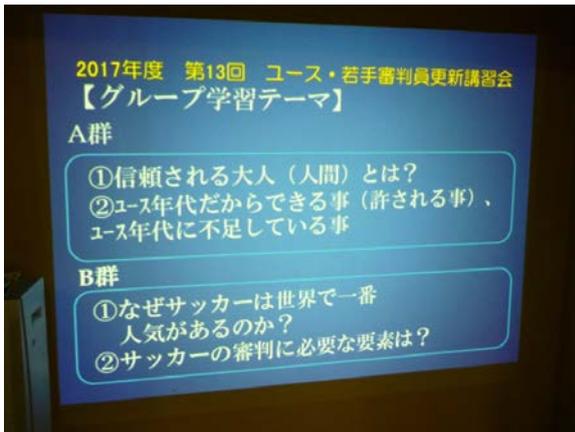
「実技後のフィードバックの様様」



「恒例、競技規則確認テスト」



「宿舎での食事風景」



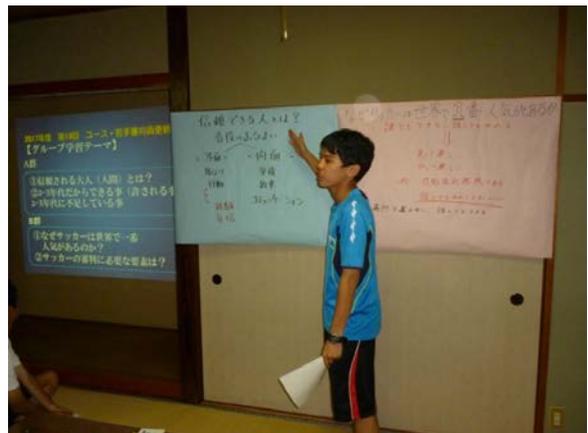
「こんな機会が無いと、考えないよね。」



「いろいろな考えが出されました。」



「いよいよ発表です。」



「素晴らしいプレゼンでした。」



「昼間の試合の振り返り」



「2日目。牛尾フィットネス部長 参上！」



「体幹を鍛えましょう。」



「腹式呼吸を体感」



「正しい姿勢とは！」



「来年もまた会いましょう！」



●○JFA フットボールフューチャープログラムトレセン研修会 U-12 に参加して○●

育成部長 木原 裕之

今回は、8月2日(水)～6日(日)まで開催されていた、「JFAフットボールフューチャープログラム研修会U-12」(以降:「FFP」)に千葉県サッカー協会審判委員会よりインストラクターとして参加させていただきました。

この大会は都道府県のトレセンチームによる大会のため選手のレベルが非常に高く、大会前にJFA技術委員会による日本の目指す選手「世界で通用する選手にする」の指導をそのまま実践している感じで、攻撃のスピード、前線から本気でボールを奪うといったスピーディーなサッカーをしていました。

審判は、各都道府県から派遣されているユース審判員だけで行います。私たちインストラクターは、そのユース審判員を指導するための研修を実践にて勉強するために参加してきました。(千葉県からのユース審判員は並木佑磨さんが参加しました)

この大会期間中は、インストラクター(5、6人)・審判員(5、6人)を1グループとして計8グループに別れて審判員は「基本にシンプルに」・インストラクターは「チャレンジ」を目標に、5日間を共に活動しました。と行っても夜の研修会は別々で各々JFAインストラクターからの指導を受け、3日目の大会休息日には、翌日にグループ別に行うユース審判員向けの講義→プラクティカルのプランニングシート作成を実施し、我がグループのテーマは「プレーの再開」についてプランを考え、講義については制限時間30分間で、どのように考えさせどのように伝えればいいのかをグループ考えて講義を実践しました。また、プラクティカルについても制限時間45分間と短い時間でしたが、こちらもグループ内で試行錯誤して無事行うことができました。その後の台風の影響で、四国・九州地方の審判員・インストラクターが最終日の朝一番で帰宅されましたが、5日間を無事終了しました。



今回FFPに参加して、ユース審判員の審判に対する前向きな姿勢、指導されたことを素直に吸収して頑張っている姿をみて、指導している側からするとおもしろいことを伝えてあげたいと思ったのですが、私の少ない経験では上手に伝えることができなかったのではと思い、今後はもっと経験を積んで自分自身の審判レベル向上ももちろんですが、審判員のみなさんにもいろいろなことを伝えて行きたいと思えます。

←5日間共にした、審判員とインストラクター(後段左が私です。)



●○シニア審判員実技更新講習会○●

—県下各地域で活動されている審判員募集!—

4級を取得したばかりで、もう少し競技規則の理解を深めたい…。
子供たちの試合でこんなことがあったが、再開方法がわからなかった…。
競技規則の改正をもっときちんと理解したい…。
そんな方々の各レベルに応じた宿泊研修(実技更新可)を実施します!!

詳細は確定次第 HPにアップします!!

対象:年齢 35 歳以上～上限なし

資格:3 級及び 4 級取得者(初心者の方も女性も大歓迎です)



強化審判員の皆さんよ!!

～今回はG4、G5グループの皆さんです～
※それぞれのカテゴリーは8月末現在

私たちは、2級強化審判員をG1～G8までの8つのグループに分けた中のG4～G5というグループに所属し、様々な指導・助言をいただきながら県内及び県外で活動をさせていただいています。将来の関東協会強化審判員候補として1級審判員を目指すメンバーも含まれています。県内のゲームで主審を担当しながら、今後関東の試合を担当する実力を備えているかを見極められる、いわば登竜門のカテゴリーです。

学生から社会人と幅広いので、互いに悩みを共有しながら切磋琢磨するカテゴリーです。今回、このレフェリーニュースで私たちの活動報告等について書かせていただく事になりましたので、G4～G5という登竜門で荒波に揉まれているメンバーから、普段の活動での難しさや楽しさを少しですが紹介させていただきます。

水間健太



永島淳平



柳澤健太



1. 審判キャリア / これまでを振り返って / 抱負

☆水間健太(みずけん)

私は某県内公立学校の教員なのですが、サッカー部の顧問となった25歳で審判の資格が必要なため4級を取得しました。そこで2級や3級の先輩や保護者の方がいて、徐々に興味を持ち始め、26歳で3級になり、八幡球技場でのレフェリースクールに参加してみました。中間さん、堀川さん、野崎さん、新田さん、淵上くん、松田くんにお会いしたのを覚えています。その後、28歳で2級となり、現在31歳です。残された期間は短いですが、吸収力を強みにさらに上に行けるように頑張っています。

☆永島淳平(じゅんぺー)

4級の資格取得から4年間あっという間に時間が過ぎ去っていったと思います。その間、数多くの試合や大会を経験することができました。そして多くの審判仲間に出会うことができました。選手として見る事ができなかった景色を審判として今は見る事ができていると思います。様々な方々に支えられながらこれまでやってこれました。今後も謙虚に、ひたむきに努力を続けていきたい思います。

☆柳澤健太(やなぎ)

私は14歳の時に父親の勧めもあり4級審判員の資格を取りました。その後、プレーヤーとの両立や、県協会の変更などがあり時間がかかりましたが、17歳で3級、25歳で2級を取得しました。年齢が上がってきましたが、上級を目指して頑張っていきます。

☆小倉敬右(おぐ)

千葉市在住の小倉です。審判活動は今年で4シーズン目になります。仕事をしながら、学校に通いながらだとトレーニング時間の確保が難しいとお悩みの方もいると思います。私自身は今シーズンから学生時代の「朝練」を思い出す感じで、仕事前に職場近くのジムでトレーニングする時間を作るようにして、夜型→朝型に変えてみました。

☆友成圭太(ともなり)

社会人になり、日々のトレーニングに時間を割く工夫が必要になったと感じています。職場の理解を得る方法やトレーニングの工夫等も楽しんでやることで審判活動自体もより楽しく感じています!

将来は新国立競技場で開催される全国高校サッカー選手権で、主審としてピッチに立ちたいです。



小倉 敬右

友成 圭太



平野 裕大



中島 智広

竹中 健太



☆平野裕大(ゆうた)

学生の頃から活動していますが、学生の頃と異なり、仕事との両立が難しいと感じています。特に、トレーニングやリハビリなどの調整、ケガへの対策など、審判技術以外の部分に苦慮しています。

限られた時間の中でどれだけ良いパフォーマンスに繋がられるかを日々考えさせられています。

自分が置かれた環境にいかにもうまく適応し、自分に合ったやり方を見つけ実践することがいいパフォーマンスに繋がると信じ、日々考えて行動することを心がけています。

☆中島智広(なかし)

審判活動をしていると、日頃の生活ではなかなか経験できないようなことを経験できることが醍醐味だと思っています。審判との両立がとても難しい仕事をしてしていますが、これからもサッカー仲間を大切に楽しく活動していきたいと思っています。

☆久保田海斗(かいと)

G5というカテゴリに入り担当する試合もより一層難しくなってきました。

私はまだ学生の子で来年就活がありますので審判と両立させ、怪我することなく次年度以降も強化に入れるよう、成長していきたいと思っています。みなさま、ご指導よろしくお願ひ致します。

2. 参加させていただいた研修会 / 関東レフェリーアカデミーについて(大まかに)

☆みずけん(ミニ国体 8月10日~12日 in 群馬)

<担当試合>

8/10・・・プラクティカルトレーニング、競技規則テスト、全体講話

8/11・・・少年群馬県 VS 少年埼玉県 ※副審

8/12・・・少年埼玉県 VS 少年茨城県 ※副審

<他の審判員・インストラクターから学んだこと>

- ・覚悟を持って1試合1試合に臨み、そのための準備をすること。
- ・「誰のためのレフェリングか」を履き違えないこと。
- ・「何のために」動きとポジショニングが重要であるのかを履き違えないこと。
- ・自分の強みを伸ばすこと
- ・審判だけでなく仕事や家庭も含めてマネジメントすること。
- ・「人として」の部分を大事にすること

☆やなぎ(萑崎フェスティバル 7月15日~17日 in 山梨)

<担当試合>

7/15・・・東京朝鮮 VS 丸岡 ※主審

7/16・・・清水東 VS 阪南大 ※副審2

7/17・・・正智深谷 VS 暁星 ※副審1、正智深谷 VS 中京 ※副審1



久保田 海斗



<他の審判員・インストラクターから学んだこと>

- ・羽石氏(インストラクター)講話の「主審の動き出しとポジショニング」で、攻撃側FWの動き出しの情報をいかに早く入手できるか、が非常に重要になることが分かりました。
- ・上荒氏(インストラクター)講話にて、類似した映像を2つ挙げられ片方はファール、もう片方はノーファールの判定でした。かなり類似した距離感・角度でプレーを見ているはずなのに判定が違うのは、主審が「この種類の反則が起きる」という予測が出来ているかどうか。良いポジションを取っても予期予測が抜けていると判定できないことが痛感できる内容でした。

☆じゅんぺー(関東レフェリーアカデミー 通年)

今年の4月から全国9地域に25歳までに国際舞台で活躍できる1級審判員を育成することを目的として設立された地域レフェリーアカデミーに参加しています。現在の関東レフェリーアカデミー1期生は5名の20歳~24歳の審判員が活動しています。(千葉1名、神奈川1名、茨城1名、東京2名、男性4名女性1名)活動日は毎月第2土日となっており、土曜日はJFAハウスで競技規則の解釈、判定の精度を高めるための研修のほかスポーツ医学や栄養学、サッカー自体や審判員の歴史、トレーニング理論など専門家を招くなどして様々な研修を行っています。日曜日はグラウンドでの実技研修のほか、日本赤十字社が実施しています初期緊急法の講習を受講したり、地域インストラクタートレセンとの連携を図るなど様々な活動を今まで行ってきました。また、年2回の合宿による集中研修を予定しています。(8月は千葉市ユース選手権に参加させていただきました)

それ以外の場では、日頃の割当をアカデミースタッフに見ていただいてフィードバックをいただいています。2年という活動期間の中で、1級受験をそれぞれが目指して切磋琢磨しています。多くの方々に支えられていることを全員が自覚していますが、1級受験は難しいチャレンジではありますが、全員が1級受験の機会を保證されているわけではありません。そこはシビアな選考がなされますが、全員が前向きにアカデミーの活動に取り組んでいます。アカデミーでの活動を少しでも千葉県に還元できるように考えていますので、審判関係者の皆様今後ともよろしくお願いたします。

3. 審判仲間の皆さんへ

☆みずけん

いろんな立場で審判活動に臨まれていると思いますが、1試合1試合が大事で基本的なやるべきことは変わらないと思います。現場で一緒できることを楽しみにしております。これからもよろしくお願致します。

PS. 何度か言わせていただいています、「健太」の皆さん、いつか「主審・副審1・副審2・第4の審判員・追加副審1・追加副審2」でできたらと思います。割当担当の方々よろしくお願いたします(笑)



☆じゅんぺー

僕も含め、20歳前後の皆さんは向こう20年ほど千葉県のサッカーを支えていく立場にあると思います。大変なこともたくさんあると思いますが、支えあい、競いあって1つでも上のステージに立てるように頑張っていきましょう。僕も皆さんに負けないように頑張ります！

☆やなぎ

今シーズンも残すところ半分を切りました。暑い時期も終わり各リーグの重要な試合が増えてくるかと思えます。ベストな試合になるよう努力しますので、よろしくお願いたします！また、アドバイス頂けますようお願いたします！

☆おぐ

今後とも皆さんと切磋琢磨し、10年後、20年後もレベルの高いフットボールと関われるように頑張っていきたいと思えますので、よろしくお願致します！



○●2018年度 更新講習会のお知らせ(サッカー)●○

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会がありますので、『KICKOFF』でご確認ください。

4級審判員対象

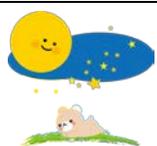
開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	申込期間
12月17日(日)	9:30～ 10:00	10:00～ 13:00	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	160名	有	11月27日
2018年 2月25日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	160名	有	2018年 2月10日 本年度最終

3級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	申込期間
12月17日(日)	13:00～ 13:30	13:30～ 16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	90名	有	11月27日
2018年 2月25日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2～4研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	90名	有	2018年 2月10日 本年度最終

2級審判員対象

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	申込期間
12月17日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	30名	有	11月27日
2018年 2月11日(日)	17:00～ 17:30	17:30～ 20:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (2研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	30名	有	2018年 1月22日 本年度最終



○●2018年度 新規取得講習会のお知らせ(サッカー)●○

(公社)千葉県サッカー協会主催の次年度新規取得講習会(前倒し)です。2018年4月から有効となる審判資格ですのでご注意ください。詳細は『KICKOFF』でご確認ください。

※3月に行われる講習会受講者には審判員証等が年度初めに届かない場合があります。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場
2018年 1月14日(日)	9:30～10:00	10:00～16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	160名	有
2018年 2月11日(日)	9:30～10:00	10:00～16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	160名	有
2018年 2月25日(日)	9:30～10:00	10:00～16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルレル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	160名	有

2018年 3月3日(土)	9:30~10:00	10:00~16:30	講義	千葉県スポーツ 科学センター (1研修室)	千葉都市モルル 「スポーツ センター駅」 徒歩10分	160名	有
2018年 3月18日(日)	9:30~10:00	10:00~16:30	講義	千葉県総合 スポーツセンター 宿泊研修所 (2階大ホール)	千葉都市モルル 「スポーツ センター駅」 徒歩8分	160名	有

●○2018年度更新講習会お知らせ（フットサル）○●

(公社)千葉県サッカー協会主催分のみ掲載してあります。下記以外にも各郡市協会主催の講習会もありますので、『KICKOFF』でご確認下さい。

開催日	受付時間	講習時間	形式	会場	最寄駅	募集人数	駐車場	講習会費
12月17日(日)	9:00~ 17:00	9:00~ 17:00	実技	東金アリーナ	東金駅	F2:6名 F3:2名 F4:8名	有り	KICKOFFで 確認してください
2018年 1月27日(土)	9:10~ 17:00	10:00~ 17:00	実技	東金アリーナ	東金駅	F2:6名 F3:6名 F4:8名	有り	KICKOFFで 確認してください

◆実技更新開催予定 ※日程が決まり次第Webにアップいたします。

2018/1月中旬~下旬

2018/2月

◆帯同審判員対象フォローアップ研修会

2017/11/26(日)9時~12時 柏市健保体育館

◆カテゴリー審判員対象研修会

2017/10/9(祝月)9時~12時 会場 野田市総合公園

2017/12/17(日曜日)午前と午後の2部制で選択は自由です。

研修時間 1部9時~12時、2部14時~17時 会場 東金アリーナ



◆各講習会等の申込について(サッカー・フットサル共通)◆

□

申込方法	<ul style="list-style-type: none"> ●「審判登録Webサイト」 (公社)千葉県サッカー協会ホームページ(http://www.chiba-fa.gr.jp/)から入れますので、各自で行ってください。 (毎日、午前2時頃~午前6時頃まではメンテナンスのためご利用頂けませんので、ご注意ください。) ●支払完了画面まで画面の説明をよく読んで進んでください。 ●申込途中で画面が進まなくなり切断・中止された方、支払完了画面まで行かなかった方、申込みを済ませたが講習会費用を支払っていない方等、受講確定になっていませんので再度最初から(受付整理番号は無視して)やり直してください。
申込期限	●「審判登録Webサイト」では、期限を過ぎると申込みが出来なくなりますので、ご注意ください。
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ●当日の持ち物や諸注意は、申込みの際に「審判登録Webサイト」上でご確認ください。 ●振込みに掛かる手数料については、各自でご負担願います。 ●講習会受講後に審判証とワッペン等が(公財)日本サッカー協会から送られてきます。 ●郡市協会主催の更新講習会は、別途会場費がかかる場合がございますので、必ず詳細を確認してください。
問合せ先	(公社)千葉県サッカー協会 TEL:043-310-4888 (審判担当) 営業時間:月~金曜日の9:00~17:30 ※各会場への問い合わせは厳禁とします。





今日も地域で頑張っています！！

～いつも各地の大会会場で頑張っている方々を紹介します～

2017年7月9日(日)印旛郡市民体育大会サッカーの部 ～白井市運動公園～



千葉県内では様々な大会が開催されていますが、そこで日頃から活躍している審判の方々にスポットを当てて取材しました。今回は県民大会の印旛郡市代表権をかけて行われた「印旛郡市民体育大会」で審判を担当した方々にインタビューしました。

- | | | |
|----------------------|--|----------------|
| ①:氏名(敬称略) | ②:審判歴 | ③:審判になったきっかけは？ |
| ④:これまで長く審判して来られた理由は？ | ⑤:審判しているのエピソードや、これだから審判は辞められない審判の魅力とは？ | |



- ①:上山 洋一(かみやま よういち)
 ②:約 17 年
 ③:私の子供がサッカークラブに入団したことでコーチとして誘われ、帯同審判の必要性が生じた結果、..
 ④:4 種チーム仲間の審判部長になって、当時は招待サッカーを開催すると、招待したチームの 3 級審判にお願いする状況で、これではイカン！と一念発起して 3 級を取得したのですが、後任が見つけれられず辞められない(笑)
 ⑤:審判がいないと試合が成り立たないところに、審判のやりがいと魅力を感じています！

- ①:河村 義彦(かわむら よしひこ)
 ②:10 年以上(上山さんには子どもと言われますが…。子供が卒団したからの方が長くなってしまいました。)
 ③:上山さんが誘われたように子供がサッカークラブに入団したことでコーチとして誘われ、上山さんに審判新規取得講習会に行ってください、と。そして、取得したら副審やってください、と。
 ④:定年がない(笑)。手伝える限りは手伝いたいです。お歴々からまだ恩を返し終わってないしね！とも(笑)。でも、そろそろ…なんて言うと、柏の御大からも『何言ってるの？オレがやってるのに』という声も(汗)。ただ、50 が近づいてくると極端に体力の衰えを感じます。
 ⑤:そんなつもりはなかったのに、実技の更新講習会でインストラクターの方に『あなた、偉そうですね。』と言われたのがトラウマになって、それを打ち消すべく態度や姿勢には気を遣っています。



- ①:金塚 文博(かなづか ふみひろ)
 ②:約 20 年
 ③:息子が小学生の時にサッカーを始めて、チームの帯同審判をしたのが始まり。その後県の強化審判員の公募に応募し、指導していただいたインストラクターのススメによりハマってしまいました。自分自身サッカーの経験はありません。
 ④:一言で言うと、“面白い”
 ⑤:毎試合シチュエーションが違う点です。失敗しても成功しても。失敗してもその問題を一週間考えてまたその課題にチャレンジしています。ただ、そろそろ県の割当てのアポイントに対して、年齢的な体力の衰えによる不安も感じるようになってきました。



- ①:河本 宏一(かわもと ひろかず)
- ②:約 20 年
- ③:子供が所属していた小学生チームの帯同審判から始めました。
- ④:チームに若いコーチが入ってこなくて、サッカーが好きだったのもあり、自分がやるしかない、と。本当は若い人がどんどん出てきてやっていただけるといいのですがなかなか…。サッカーは好きだけど、審判は、、、という方が多く…。
- ⑤:審判で100点満点で80点を取ればいいと思うのだけど、なかなか難しい。なるべく100点を目指そうと思うのですが、なかなか…。判定でブレてしまったりして、『次は頑張ろう!』と思えるところが魅力です。

□

①:大倉 博之(おおくら ひろゆき)

- ②:約 13 年
- ③④:子供が所属していたチームで帯同として始め、卒団とともにしばらく失効していたが、そのチームの代表を引き受けることになり…。前任者が審判については厳しい方で、『試合(の結果)は負けても、審判として負けちゃダメだ!』と。叱咤されて、『なにくそっ!』という気持ちでここまで続いています。
- ⑤:審判って、面白いですよ。サッカーって、疲れる、決して楽なスポーツではないと思うんですけど。



①:養田 富雄 (ようだ とみお)

- ②: 29 年
- ③:子供が所属していたチームから、いきなり笛を持たされて、全然サッカー経験がなかったので何もわからず、ただ、持たされたことは(笛を)吹いていいんだな、と副審をしていてタッチアウトした時に主審が気づかなかった時にピピッと吹いてしまった、というデビュー時のエピソードがあります。
- ④:もう年も年なので、お役御免にさせていただきたいのだが、誰も都合つかないからってお願いされてズルズル…。更新しないまでやめられないかな(笑)
- ⑤:魅力…ないかなあ(笑)でも、誰かがやらなくてはいけないからね。昔より審判に対する風当たりはギスギスせず和やかになったと思います。先日も熱くなったプレイヤーの中へこの好々爺が入っていくと、『このジイさんになだめられたらしょうがないか。』とクールダウンしてしまう。



①:山田 裕美子 (やまだ ゆみこ)

- ②: 10 数年
- ③④:子供のサッカーチームを応援しに行っていて、オフサイドのルールが分からず、4級審判員の新規取得講習会に参加して理解を深めてみよう、と思ったのがきっかけです。でも、講習会に参加しただけでは全然理解できず(笑) 競技規則の言葉も難しく、最初は戸惑いましたが、他の仲間を人間の駒にしてシュミレーションして確認したり、女性のチームで帯同審判として学んできながらやってきました。
- ⑤:選手たちが一所懸命やっているのを見るのが好きです。外で見るより、身近でそれを感じることが出来ます。なので、余計にちゃんとやらなきゃ、と思います。毎年香取研修で厳しい指導に遭いますが、それでもまた辞めずに頑張ろうと思うのは、何かあるんでしょうね。



□

①:林 克三 (はやし かつみ)

- ②: 23 年
- ③④:子供が所属していたチームのお父さんコーチから始めて、ちゃんとした審判が必要だね、と審判資格を取得し、どんどのめり込んでいきました。
- ⑤:公平な審判が出来たら、と思いつつ、なかなかうまく実現できなくて…。次こそは!というチャレンジのしがいがあるところ、です。





レフェリーフィットネスコラム

今回は、リカバリー(回復)について！
～試合やトレーニング直後にすべきこと～



牛尾眞一郎

審判員も選手と同じようなフィジカルが求められています。選手と違うのは、ボールを蹴らない、飛ばない、ぶつからないくらいです。ウォーキング、ジョギング、ランニング、スプリントとあらゆるスピード、タイミングで360度駆け回ります。

ある国にこんな言葉があります。

勝利の方程式：最高のプレー = 努力+回復力

良いレフェリングのために「本気」で努力、トレーニングすることはもちろん大切です。しかし、ただ頑張るだけでは、人間の身体は、疲弊し成長できません。リカバリー(回復)させるための正しい知識と積極的な努力が必要になってきます。審判活動の後、ぜひ取り入れてみてください。

<疲労物質の除去の方法>

- 1 体が温かいうちに5～15分の有酸素運動(おしゃべりペースでジョギングやウォーキング)
→血流量を増やし、血流バランスを整え、疲労物質の分解を助ける働きをさせる。
- 2 スタティックストレッチ(静的ストレッチ)の実施(過度に収縮した筋肉の長さを整える)
→筋が張っている状態をゆっくり伸ばして筋のバランスを整える。
- 3 ハイドロセラピー(水治療法)の実施(アイスバスはリカバリーの最善の方法)
→水圧によるマッサージやアイシングと温水浴の効果を利用して疲労物質の除去に活かす。
理想的な交代浴の方法
アイスバスの水温:12～15℃ 温水浴の水温:38～40℃
温水(3～5分)→冷水(1分間)→温水(1分間)を5～10回程度繰り返す。



<使い切ったエネルギーの補給>

- 1 運動直後に柑橘系100%ジュース、プロテイン、バナナ、水分補給→脱水はリカバリーの敵
- 2 30分以内のエネルギー補給→吸収効率の良い「ゴールデンタイム」を見逃すな！
- 3 動物性たんぱく質と炭水化物を多く含んだ食事を食べる



<傷ついた筋の修復>

- 1 違和感やケガをした部位にはまずアイシング
- 2 トレーニング後・試合後の食事は脂肪の少ない動物性たんぱく質中心のおかずでご飯をたくさん食べることが出来る食事
- 3 早寝をし、成長ホルモンの恩恵を受ける(24時前には必ず寝ることが重要)



トレーニングや試合によって蓄積された疲労やダメージから早くリカバリー(回復)することが、次のトレーニングや試合へのコンディショニングの第一歩

【参考文献】

大塚 潔(2016)「コンディショニングTips(前編)」P.13～19ブックハウスHD

これからもウォーミングアップ、クールダウン、トレーニング方法、走り方、リカバリー方法、栄養など一緒に勉強していきましょう！

ご質問、勉強したいことありましたらどうぞご連絡ください。

レフェリーフィジカルコーチ 牛尾眞一郎 ushishi2010@ybb.ne.jp

●○第4の審判員のお仕事○●

皆さん、第4の審判員をご存知だと思います。日本代表の試合やリーグでも見かけますし、実際に経験されたことのある方もいることでしょう。しかし、試合中はテレビなどにもあまり映りませんし、なかなか割当て第4の審判員を経験することはそれほど多くないのではないのでしょうか？

第4の審判員が具体的にどのようなことを試合中に行っているのかわからない方も多くことと思われるので、今回は第4の審判員のお仕事についてご紹介致します！

①会場入り

会場には他の審判員同様、決められた時間までに入ります。集合時間が決められている時やミーティングがある場合にはそれまでに、特にない場合でも最低試合開始60分前には会場入りをするようにしましょう。試合前には様々な準備がありますので、余裕を持って行動できるように早めに会場入りができるといいですね。

運営スタッフやチーム関係者、他の審判員とも顔を合わせたら挨拶をしましょう！



②準備

試合開始前には主審を中心に打ち合わせが行われますので、しっかり第4の審判員の役割を確認しましょう。主審や副審が第4の審判員に何を求めているのか、何を協力してもらいたいのかを打ち合わせで確認できるいいでしょう。

試合中に、他の審判員がその任務を続けることが難しくなった際に、どの役割を引き継ぐことになるかも確認していつでも代わられるように準備しておきましょう。

試合で実際に使う道具を確認します。

試合球が何球で行われるのか？マルチボールなのかどうかも確認し、ボールパーソンがいる場合には配置も確認しておくといいでしょう。使用する全てのボールが競技規則第2条の要件に適合しているかを主審や副審と一緒に確認します。空気圧の過不足については、審判チームで調整して、要件に適合させることもあります。

交代ボードや予備のアシスタントフラッグが会場に準備されているか確認します。アシスタントフラッグが試合中に破損してしまう場合もあるため、会場に予備がない場合には、自分たちで準備をしましょう。また、交代ボードがない場合には、交代やアディショナルタイムの時の表示についてどのような方法をとるのかを主審に確認をしておきましょう。交代ボードがある場合、使い方に慣れていない方は試合開始前に交代ボードの数字を作る練習をしておくといいですね。担架要員がいる場合にはどのような時に準備をして欲しいか、主審がどのような合図をしたり、どのような時にフィールドに入ってもらえるか等を伝えるなど、事前にコミュニケーションをとり試合中にスムーズな対応ができるようにしておきましょう。

また、試合中の出来事を記録するメモ用紙やそれを挟むバインダーなども準備しておくとう便利です。

③試合前に

第4の審判員も他の審判員とウォーミングアップを行きましょう。

また、試合開始前までに交代ボードや予備のフラッグ等、必要な用具を第4の審判員席に準備をします。

試合前の選手チェックの際には他の審判員と協力してメンバー用紙の名前、背番号、身につけられた用具等を確認し、認められていない人が試合に出ないように、選手に怪我が起こりうる可能性を減らすように注意を払いましょう。

④試合中

試合中の得点や懲戒処置の記録、ベンチとのやり取り、主審や副審が気が付かないところへの目配り気配り、担架要員との協力、交代の手続き等、試合中の第4の審判員の役割は多岐に渡ります。

ベンチでチーム役員や交代要員は責任のある態度で行動していますか？メンバー用紙に記載された人以外がベンチ内にいませんか？指示はテクニカルエリア内で行っていますか？2人以上ベンチから離れ指示をしていませんか？ウォーミングアップやクールダウンをする交代要員以外はベンチへ着席していますか？交代要員やチーム役員は競技者と区別の出来る服装でいますか？

もちろん第4の審判員もプレーを見ておく必要はあります。しかし、第4の審判員は主審や副審とは違い、周囲への対応が求められるため、プレーを見すぎてその他の対応が疎かにならないように気を付けましょう。

とはいえ、過敏になりすぎる必要はありません。何でもかんでも目くじらを立てて注意をするのではなく、試合を通してチームと友好的な関係を作ることも大事です。自分が監督だった場合、審判員の対応がどのようなであれば競技規則を守ろうと思いますか？どのようなタイミングでどのような声掛けをすればいいのかを研究していきましょう。



*交代

各チームから交代用紙が提出されたら、用紙にしっかり必要事項が記入されているかを確認します。交代回数、時刻、監督署名なども記入が必要です。記入されていない場合には、チームに書いてもらうよう伝えましょう。

交代して出場する競技者の氏名と背番号、交代して退く選手の氏名と背番号がメンバー用紙に届けられているかを確認し、届けられた背番号や氏名に間違いがある場合には、選手やチームへ伝えます。交代して出場する選手がその人本人かどうかは、選手に名前を言ってもらうなどして確認をしましょう。

交代ボードがある場合には、番号をボードに表示します。A1が近くにいる際には次のアウトオブプレーで交代をする旨を伝えておくとスムーズです。

アウトオブプレーになったら、交代ボードを頭上にあげ、交代があることを主審に知らせます。コーナーキックやフリーキックの際には、チーム側から交代を待って欲しいと申し出がある場合がありますのでチームへ確認をしてからボードを上げるとスムーズにいくでしょう。

退く選手がフィールドの外に出るのを確認し、主審の合図を受けてから、交代して出場する選手をフィールド内へ入場させます。

また、ハーフタイムに交代が行われることも多くあります。その際には早めに席に戻るなど準備をするといいでしょう。チームから声がかからない時にも、主審がベンチアウトの合図をした後に両チームへ交代の有無を確認しておくといいでしょう。

*ボールの対応

マルチボール以外で試合が行われる際に、予備のボールを第4の審判員が管理することが多くあります。ボールを取りに行くまでに時間がかかる場合には、主審からボールを要求されることがあります。どのような合図を受けてボールを入れるのかを確認しましょう。

ボールを第4の審判員席で管理する際には、足で踏みつけたりしないように気をつけましょう。また、ボールを入れる際にも足ではなく手で転がし入れるようにしましょう。

*けが人

プレー中、接触などで倒れた選手が発生した場合、いつ主審から担架の要請があってもいいようにタッチライン近くまでよります。この時、担架要員へも準備をするように声掛けをしましょう。

チーム役員へは主審の合図があるまではフィールド内へ入らないように声をかけておきます。役員の入場か、担架での搬出か主審の合図を確認して対応しましょう。

打ち合わせで主審より、止血の確認を求められている場合には止血の確認をし、選手の復帰の援助をしましょう。

*記録

試合中の記録は主審や副審同様に行います。

得点の記録、交代の記録、懲戒処置の記録を取ります。タイミングは、主審と副審の2人が記録し終わったことを確認した後が望ましいでしょう。懲戒処置の記録は、時間と選手の背番号を確認して間違いがないよう記載します。そのとき、わかる範囲で構わないので、懲戒の理由についても記録できるといいです。(試合終了後に、審判チームで確認をします。)



*飲水タイム時など

飲水タイム時には、選手がタッチラインから外に出ないかどうかには注意を払います。そして、飲水を終えたら速やかにプレーに戻るように、声かけをしましょう。

*アディショナルタイム

主審との打ち合わせ時の通りに、試合終了近くになった時間帯で主審とアイコンタクトして、確認をします。

確認した時間を、45分ハーフであれば、ちょうど45分になる頃に表示します。アディショナルタイムが0分の時には表示する必要はありません。

交代やけが人などの対応で、アディショナルタイムを表示すべき時間に重なってしまった際には、そちらを優先しまし

よう。時間内に表示が難しくなった際には、直接両ベンチへ伝えに行きます。負けているチームやホームチームから伝えるなど、順番等も考慮しましょう。

必要時にすぐさま動ける準備は必要ですが、第4の審判員は必ずしも立っている必要はありません。第4の審判員は、主審や副審が気付かない部分にこそ気が付く必要があります。ご自身がレフェリーを担当した際に、試合中にどういふ対応してくれる第4の審判員ならありがたいですか？

⑥試合後

試合記録の確認を他の審判員や記録担当者で行います。間違っている場合には訂正が必要です。

試合によっては、審判アセッサーが派遣され、試合終了後にレフェリングについてのフィードバックがあります。その際には、積極的に参加しましょう。

※「フィードバック(振り返り)」とは、担当した試合についての審判員各自が自己分析をし、アセッサーからはアドバイスがもらえるミーティングのことです。(以前は「反省会」と言っていました。)

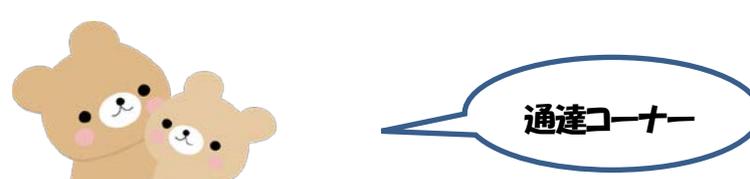
*最後に…。

第4の審判員の仕事はこのように様々です。決して交代やアディショナルタイム表示だけが、任務ではありません。試合が円滑に進むためにも第4の審判員の役割は重要になります。つつい主審や副審の動きに、目がいてしまいますが、今度は主審や副審だけでなく、第4の審判員の動きにも注目して、試合を見てみるといいかもしれませんね。



To be continued...

♪次のテーマもお楽しみに!!♪



通達コーナー

2017/2018年の競技規則改正の解説が届きました。詳しくは、こちらのQRコードよりご確認ください。



ガイドライン改正の解説はこちらよりご確認ください
こちらよりご確認ください



広告主さま募集しています。

- 千葉県内約1万3千名の審判員に年4回送られているレフェリーニュースに掲載する広告を募集しています。
- 募集枠は、1枠(1枠タテ55mm×ヨコ85mm)。
- この枠が1枠の大きさの目安です。

詳細、お申し込みは…(公社)千葉県サッカー協会事務局
(TEL:043-310-4888) にご連絡をお願いいたします。

編集後記

私もレフェリーキャラバンに参加させて頂きました。たくさんの仲間が集まり顔を合わせてサッカーの話ができ、色々な意見や考えを知る機会は素敵ですね。相手の考えを引き出すことや、現時点の課題をアセスメントをしながら抽出することは私の仕事にも通じているので、非常に興味深い！今後も選手、審判、インストラクターが同じベクトルを向けて、千葉県サッカー界を前進させたいですね！(aya)

レフェリーニュース編集員

木川 綾

長谷川 鉄哉

唐崎 敦好

染田 洋

公益社団法人千葉県サッカー協会審判委員会

E-mail:cfarcs.somu@gmail.com

http://cfa-referee.lolipop.jp/